

データ科学の最前線

ー合成・計測実験との協働へ向けてー

合成や計測を主とする実験研究者が、得られた実験データをいかに機械学習等のデータ科学研究者と協働して、より高効率で高インパクトな物質・材料研究に活かせるか、という観点を踏まえて、データ科学の最前線でご活躍の著名な先生方をお招きし、実験研究者向けのチュートリアル的要素も盛り込んだ形で最先端の研究成果をご紹介します。

第Ⅰ部 8/30 (月)

- 13:00～14:00 関嶋 政和 先生 (東京工業大学)
「深層学習と生成モデルによる創薬手法の開発と応用」
- 14:00～15:00 田村 亮 先生 (物質・材料研究機構／東京大学)
「ベイズ最適化パッケージPHYSBOの紹介と材料研究への応用」

第Ⅱ部 8/31 (火)

- 13:00～14:00 高橋 啓介 先生 (北海道大学)
「マテリアルズインフォマティクスによるデータから材料開発までの道筋」
- 14:00～15:00 小野 寛太 先生 (大阪大学)
「物質・材料の計測の効率化と自動化ー現状と将来展望ー」
- 15:10～16:10 沓掛 健太郎 先生 (理化学研究所)
「実際の材料プロセス実験への機械学習応用とその課題」
- 16:10～16:25 大森 実 先生 (京セラ株式会社)
「正方晶PZTにおけるドメインの研究ー微構造とマクロな振舞いー」
- 16:25～17:25 鈴木 賢治 先生 (東京工業大学)
「機械・深層学習による画像処理とパターン認識:
ー医用画像処理・診断支援を例にー」

8.30^月
8.31^火

オンライン開催 - Zoom Webinar -
参加費は無料です。WEBよりご登録ください



<https://www.msl.titech.ac.jp/seminar/3026.html>

主 催 | 科学技術創成研究院 フロンティア材料研究所
共 催 | 物質・情報卓越教育院